

# 令和3年度 第3回 川西市地域公共交通会議

## 次第

日時 令和4年3月22日(火)  
午前10時00分～12時00分(予定)  
場所 川西市役所 7階 大会議室

### 1. 開会

### 2. 報告

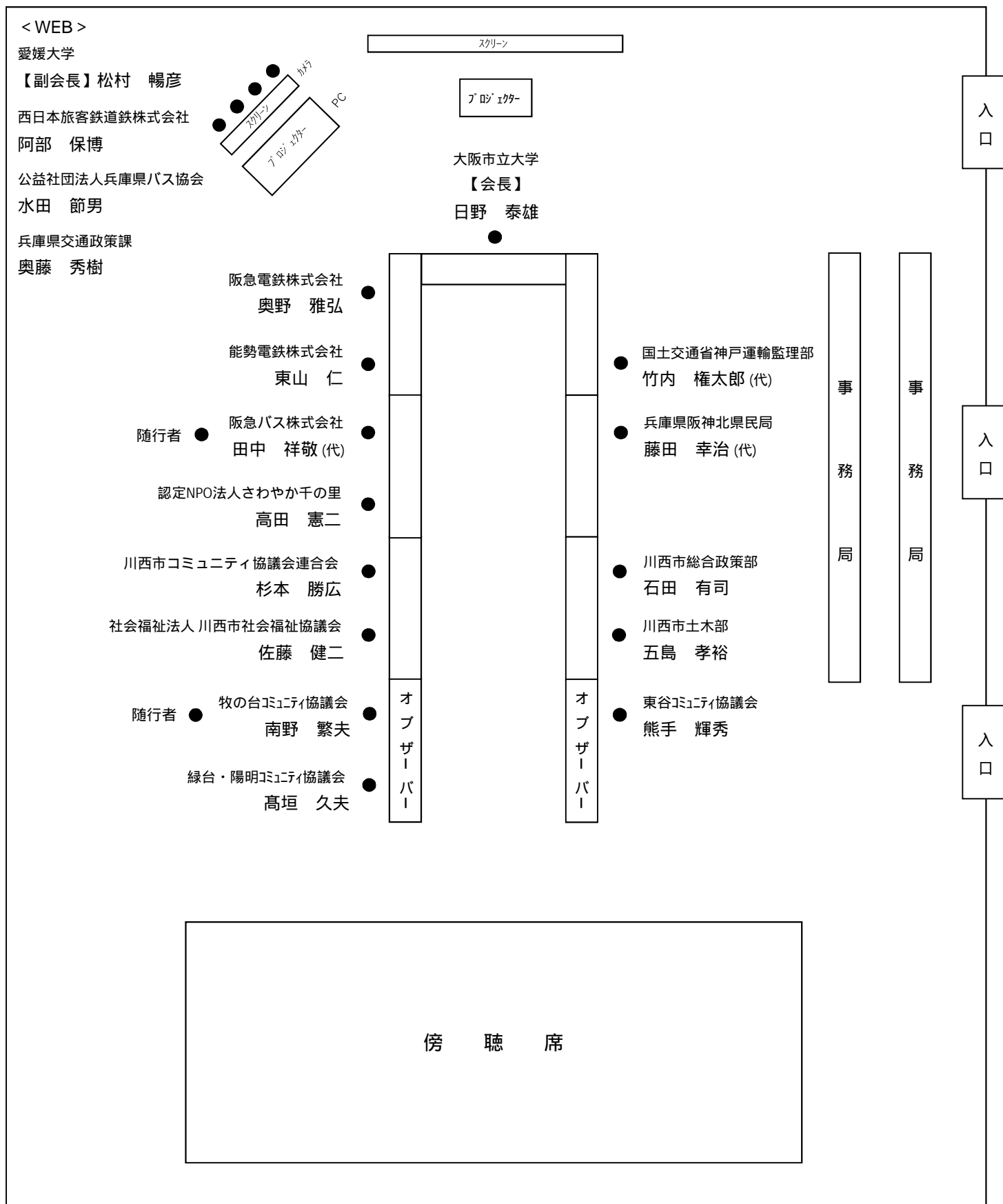
- (1) 交通事業者における現状と今後の取組予定について [資料1]

### 3. 協議

- (1) (仮称)川西市公共交通計画に係るニーズ調査について [資料2]
- (2) 補助路線の現状と補助路線の持続可能なバス運行の検討について [資料3]

### 4. 閉会

# 令和3年度 第3回 川西市地域公共交通会議 配席図



# 令和3年度 第3回 川西市地域公共交通会議 出席者名簿

## 委員

構成団体	所属	役職	構成員	出席者
大阪市立大学		名誉教授	[会長] 日野 泰雄	同左
愛媛大学	社会共創学部 環境デザイン学科	教授	[副会長] 松村 暢彦	同左(WEB)
西日本旅客鉄道株式会社	近畿統括本部 大阪支社 総務企画課	課長代理	阿部 保博	同左(WEB)
阪急電鉄株式会社	都市交通事業本部 交通プロジェクト推進部	部長	奥野 雅弘	同左
能勢電鉄株式会社	鉄道事業部	副部長 兼 運転課長	東山 仁	同左
阪急バス株式会社	営業企画部(地域公共交通担当) 兼 経営企画部(次世代モビリティ担当)	部長	野津 俊明	計画課長 田中 祥敬 (代理出席)
公益社団法人 兵庫県バス協会		専務理事	水田 節男	同左(WEB)
一般社団法人 兵庫県タクシー協会 株式会社フクコ		代表取締役	松下 誠吾	欠席
兵庫県交通運輸産業労働組合協議会 阪神地域協議会 阪急バス労働組合		副執行委員長	日田 守	欠席
認定NPO法人さわやか千の里		理事長	高田 憲二	同左
川西市コミュニティ協議会連合会 北陵コミュニティ協議会		会長	杉本 勝広	同左
社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	地域福祉チーム	副主幹	佐藤 健二	同左
川西市民		-	秋篠 彩	欠席
国土交通省	神戸運輸監理部 兵庫陸運部	首席運輸企画専門官	田橋 一	運輸企画専門官 竹内 権太郎 (代理出席)
兵庫県	阪神北県民局 宝塚土木事務所	所長	雨宮 功	所長補佐 藤田 幸治 (代理出席)
兵庫県川西警察署	交通課	課長	黒阪 貢一	欠席
川西市	総合政策部	部長	石田 有司	同左
川西市	土木部	部長	五島 孝裕	同左

## オブザーバー

牧の台コミュニティ協議会		会長	南野 繁夫	同左
緑台・陽明コミュニティ協議会		会長	高垣 久夫	同左
東谷コミュニティ協議会		会長	熊手 輝秀	同左
兵庫県	県土整備部県土企画局 交通政策課	副課長 兼 地域交通班長	奥藤 秀樹	同左(WEB)

## 事務局

所属	役職	氏名	所属	役職	氏名
土木部	副部長	阪上 哲生	土木部交通政策課	課長	小西 裕之
土木部交通政策課	課長補佐	山元 和子	土木部交通政策課	主査	後藤 宏之
土木部交通政策課	主任	重村 淳志	土木部交通政策課	主任	小松原 愛美

## 駅別乗降人員の推移

	1995年(平成7年)		2001年(平成13年)		2002年(平成14年)		2003年(平成15年)		2004年(平成16年)		2005年(平成17年)		2006年(平成18年)		2007年(平成19年)		2008年(平成20年)		2009年(平成21年)		2010年(平成22年)		
	乗降人員	比率	乗降人員	比率	乗降人員	比率	乗降人員	比率	乗降人員	比率	乗降人員	比率	乗降人員	比率	乗降人員	比率	乗降人員	比率	乗降人員	比率	乗降人員	比率	
川西能勢口	75,861	100.0%	59,947	79.0%	54,834	72.3%	54,707	72.1%	53,510	70.5%	53,246	70.2%	53,120	70.0%	52,691	69.5%	52,274	68.9%	50,500	66.6%	47,474	62.6%	川西能勢口
絹延橋	2,624	100.0%	2,092	79.7%	2,028	77.3%	1,976	75.3%	1,905	72.6%	1,749	66.7%	1,820	69.4%	1,734	66.1%	1,731	66.0%	1,694	64.6%	1,638	62.4%	絹延橋
滝山	3,541	100.0%	2,516	71.1%	2,283	64.5%	2,181	61.6%	2,474	69.9%	2,401	67.8%	2,381	67.2%	2,142	60.5%	2,110	59.6%	2,143	60.5%	2,127	60.1%	滝山
鷺の森	3,260	100.0%	1,620	49.7%	1,483	45.5%	1,498	46.0%	1,481	45.4%	1,403	43.0%	1,379	42.3%	1,361	41.7%	1,293	39.7%	1,167	35.8%	1,175	36.0%	鷺の森
鼓滝	8,205	100.0%	6,363	77.6%	5,889	71.8%	5,754	70.1%	5,560	67.8%	5,750	70.1%	5,414	66.0%	5,510	67.2%	5,432	66.2%	5,160	62.9%	5,432	66.2%	鼓滝
多田	9,453	100.0%	8,587	90.8%	7,808	82.6%	7,477	79.1%	7,589	80.3%	7,355	77.8%	7,176	75.9%	7,415	78.4%	7,042	74.5%	6,942	73.4%	6,976	73.8%	多田
平野	11,941	100.0%	9,138	76.5%	8,961	75.0%	8,801	73.7%	8,557	71.7%	8,356	70.0%	8,160	68.3%	7,996	67.0%	7,783	65.2%	7,715	64.6%	7,676	64.3%	平野
一の鳥居	2,089	100.0%	1,898	90.9%	1,663	79.6%	1,501	71.9%	1,474	70.6%	1,535	73.5%	1,296	62.0%	1,242	59.5%	1,145	54.8%	1,075	51.5%	1,024	49.0%	一の鳥居
畦野	12,738	100.0%	10,838	85.1%	10,151	79.7%	9,887	77.6%	9,999	78.5%	9,368	73.5%	8,997	70.6%	9,051	71.1%	8,909	69.9%	8,646	67.9%	8,322	65.3%	畦野
山下	10,198	100.0%	8,788	86.2%	8,561	83.9%	8,445	82.8%	8,053	79.0%	8,117	79.6%	7,616	74.7%	7,657	75.1%	7,695	75.5%	7,331	71.9%	7,554	74.1%	山下
笹部	360	100.0%	224	62.2%	196	54.4%	265	73.6%	235	65.3%	208	57.8%	223	61.9%	213	59.2%	199	55.3%	182	50.6%	167	46.4%	笹部
光風台	6,670	100.0%	6,451	96.7%	6,049	90.7%	6,030	90.4%	5,833	87.5%	5,637	84.5%	5,375	80.6%	5,167	77.5%	4,927	73.9%	4,610	69.1%	4,563	68.4%	光風台
ときわ台	5,771	100.0%	4,853	84.1%	4,391	76.1%	4,273	74.0%	3,960	68.6%	3,913	67.8%	3,686	63.9%	3,667	63.5%	3,435	59.5%	3,128	54.2%	3,050	52.9%	ときわ台
妙見口	2,673	100.0%	2,807	105.0%	1,977	74.0%	2,206	82.5%	2,136	79.9%	1,986	74.3%	2,040	76.3%	1,981	74.1%	1,790	67.0%	1,594	59.6%	1,444	54.0%	妙見口
日生中央	15,244	100.0%	14,872	97.6%	12,624	82.8%	12,423	81.5%	12,518	82.1%	12,246	80.3%	12,557	82.4%	12,489	81.9%	12,303	80.7%	11,973	78.5%	12,050	79.0%	日生中央
計	170,628	100.0%	140,994	82.6%	128,898	75.5%	127,424	74.7%	125,284	73.4%	123,270	72.2%	121,240	71.1%	120,316	70.5%	118,068	69.2%	113,860	66.7%	110,672	64.9%	計

比率は、1995年(平成7年)の乗降人員を100%とした場合の年度別対比率

	2011年(平成23年)		2012年(平成24年)		2013年(平成25年)		2014年(平成26年)		2015年(平成27年)		2016年(平成28年)		2017年(平成29年)		2018年(平成30年)		2019年(令和元年)		2020年(令和2年)		2021年(令和3年)		
	乗降人員	比率	乗降人員	比率	乗降人員	比率	乗降人員	比率	乗降人員	比率	乗降人員	比率	乗降人員	比率	乗降人員	比率	乗降人員	比率	乗降人員	比率	乗降人員	比率	
川西能勢口	47,437	62.5%	47,318	62.4%	48,250	63.6%	47,281	62.3%	46,250	61.0%	45,746	60.3%	45,642	60.2%	45,306	59.7%	45,031	59.4%	37,776	49.8%	37,572	49.5%	川西能勢口
絹延橋	1,748	66.6%	1,695	64.6%	1,984	75.6%	1,833	69.9%	1,913	72.9%	1,902	72.5%	1,742	66.4%	1,884	71.8%	2,383	90.8%	2,161	82.4%	2,310	88.0%	絹延橋
滝山	2,025	57.2%	2,025	57.2%	2,169	61.3%	2,118	59.8%	2,201	62.2%	2,221	62.7%	2,147	60.6%	1,959	55.3%	2,040	57.6%	1,803	50.9%	2,174	61.4%	滝山
鷺の森	1,178	36.1%	1,212	37.2%	1,241	38.1%	1,167	35.8%	1,106	33.9%	1,073	32.9%	1,162	35.6%	1,099	33.7%	1,090	33.4%	917	28.1%	908	27.9%	鷺の森
鼓滝	5,314	64.8%	5,176	63.1%	5,575	67.9%	5,455	66.5%	4,979	60.7%	5,048	61.5%	5,323	64.9%	5,318	64.8%	5,265	64.2%	4,550	55.5%	4,645	56.6%	鼓滝
多田	7,113	75.2%	7,030	74.4%	7,505	79.4%	7,529	79.6%	7,295	77.2%	7,318	77.4%	7,092	75.0%	7,050	74.6%	7,276	77.0%	6,063	64.1%	5,974	63.2%	多田
平野	7,848	65.7%	7,619	63.8%	7,693	64.4%	7,449	62.4%	7,436	62.3%	7,155	59.9%	7,109	59.5%	6,884	57.7%	6,757	56.6%	5,766	48.3%	5,681	47.6%	平野
一の鳥居	1,129	54.0%	881	42.2%	1,048	50.2%	1,024	49.0%	909	43.5%	801	38.3%	825	39.5%	749	35.9%	814	39.0%	680	32.6%	678	32.5%	一の鳥居
畦野	8,304	65.2%	7,993	62.7%	8,510	66.8%	8,540	67.0%	7,719	60.6%	7,677	60.3%	7,817	61.4%	7,759	60.9%	7,813	61.3%	6,727	52.8%	6,457	50.7%	畦野
山下	7,346	72.0%	7,164	70.2%	6,993	68.6%	6,704	65.7%	6,880	67.5%	7,030	68.9%	6,847	67.1%	6,692	65.6%	6,389	62.6%	5,612	55.0%	5,561	54.5%	山下
笹部	152	42.2%	170	47.2%	174	48.3%	169	46.9%	135	37.5%	155	43.1%	150	41.7%	125	34.7%	122	33.9%	123	34.2%	109	30.3%	笹部
光風台	4,280	64.2%	4,416	66.2%	4,228	63.4%	4,022	60.3%	3,768	56.5%	3,663	54.9%	3,629	54.4%	3,523	52.8%	3,440	51.6%	2,750	41.2%	2,667	40.0%	光風台
ときわ台	2,906	50.4%	2,749	47.6%	2,669	46.2%	2,476	42.9%	2,428	42.1%	2,382	41.3%	2,364	41.0%	2,260	39.2%	2,222	38.5%	1,907	33.0%	1,817	31.5%	ときわ台
妙見口	1,513	56.6%	949	35.5%	1,019	38.1%	964	36.1%	1,132	42.3%	1,143	42.8%	923	34.5%	890	33.3%	886	33.1%	712	26.6%	702	26.3%	妙見口
日生中央	12,257	80.4%	11,805	77.4%	11,692	76.7%	11,209	73.5%	11,155	73.2%	10,974	72.0%	10,940	71.8%	10,662	69.9%	10,548	69.2%	8,837	58.0%	8,813	57.8%	日生中央
計	110,550	64.8%	108,202	63.4%	110,750	64.9%	107,940	63.3%	105,306	61.7%	104,288	61.1%	103,712	60.8%	102,160	59.9%	102,076	59.8%	86,384	50.6%	86,068	50.4%	計

比率は、1995年(平成7年)の乗降人員を100%とした場合の年度別対比率

2022年3月22日  
能勢電鉄株式会社

## 月別利用者数比較(平成30年度～令和3年度)

(単位:人)

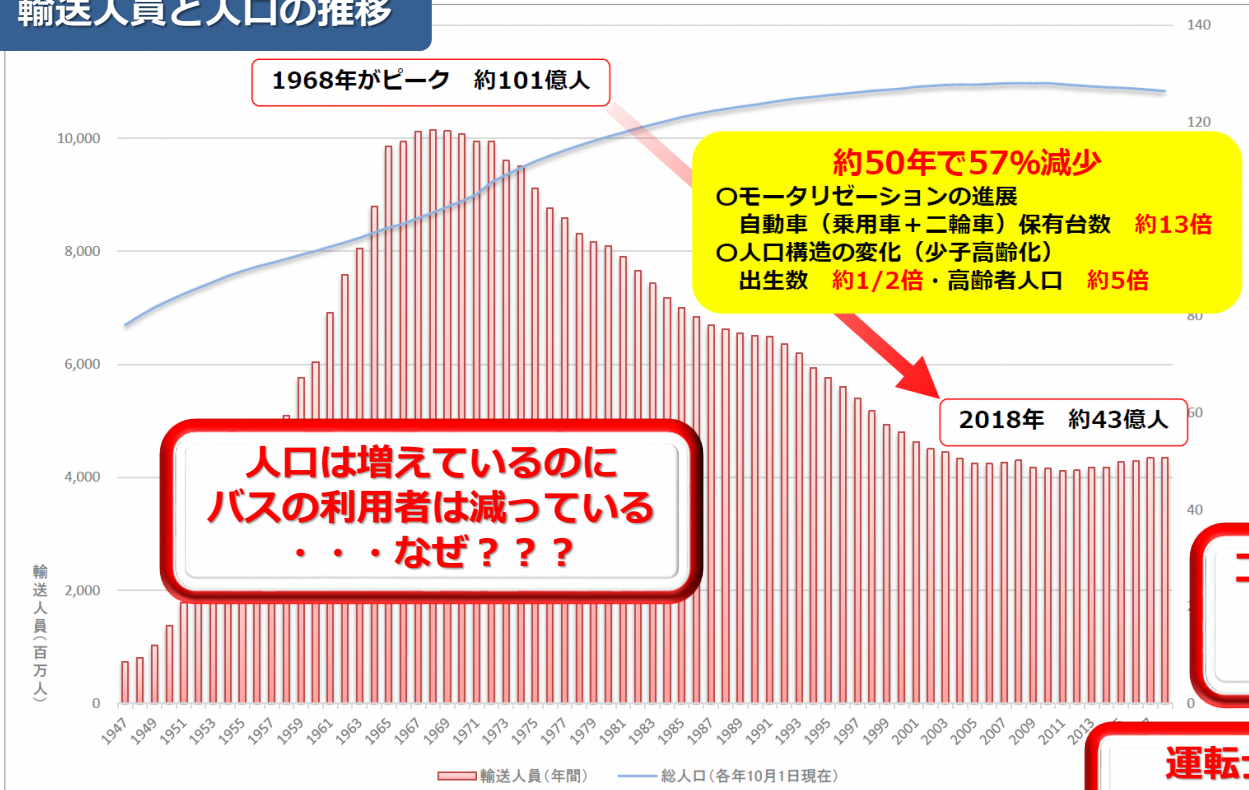
平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	1,743,889	1,815,356	1,740,743	1,684,852	1,703,995	1,621,271	1,759,858	1,729,558	1,687,208	1,682,384	1,577,607	1,690,262

令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	1,726,683	1,830,439	1,728,488	1,708,608	1,675,842	1,862,624	1,659,945	1,708,552	1,625,044	1,690,404	1,532,544	1,310,495
対前年比	99.0%	100.8%	99.3%	101.4%	98.3%	114.9%	94.3%	98.8%	96.3%	100.5%	97.1%	77.5%

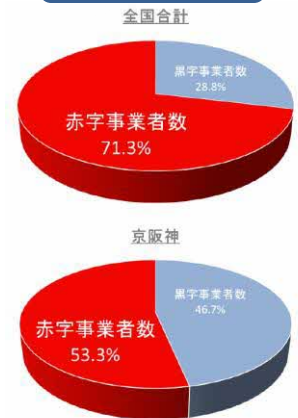
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	991,923	1,049,909	1,330,602	1,331,207	1,314,345	1,352,976	1,437,910	1,395,049	1,284,247	1,252,327	1,188,397	1,333,611
対前年比	57.4%	57.4%	77.0%	77.9%	78.4%	72.6%	86.6%	81.7%	79.0%	74.1%	77.5%	101.8%

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
利用者数	1,345,392	1,237,077	1,324,319	1,324,868	1,243,620	1,269,833	1,389,337	1,401,642	1,370,192	1,315,279	1,172,354
対前年比	135.6%	117.8%	99.5%	99.5%	94.6%	93.9%	96.6%	100.5%	106.7%	105.0%	98.7%
対前々年比	77.9%	67.6%	76.6%	77.5%	74.2%	68.2%	83.7%	82.0%	84.3%	77.8%	76.5%

## 輸送人員と人口の推移



## 収支状況



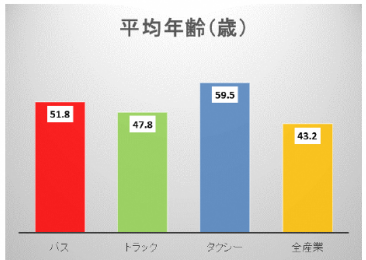
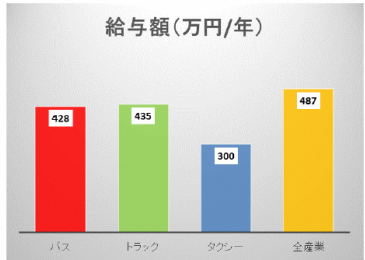
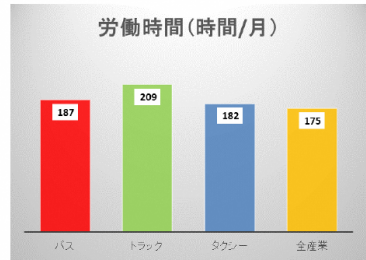
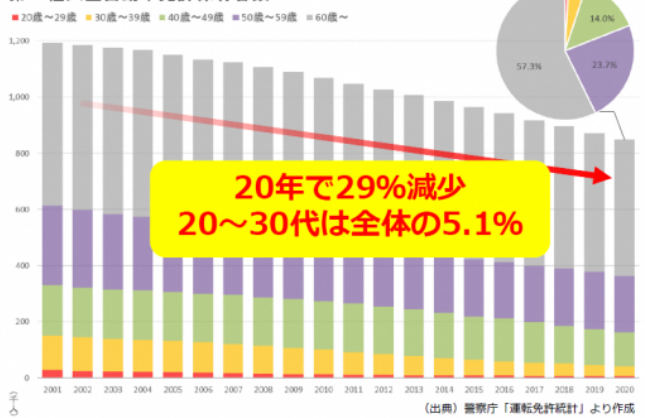
(出典) 公益社団法人日本バス協会「2019年度版 日本のバス事業」より作成

**コロナウィルスの感染拡大によりさらに状況は悪化している・・・外出が減ってしまった**

**運転士不足は深刻化している・・・走りたくても走れない**

- 全産業と比べ、**労働時間が長く、年間所得額も低い**ため、**就業を敬遠**。
- **第二種大型自動車運転免許保有者が減少**。

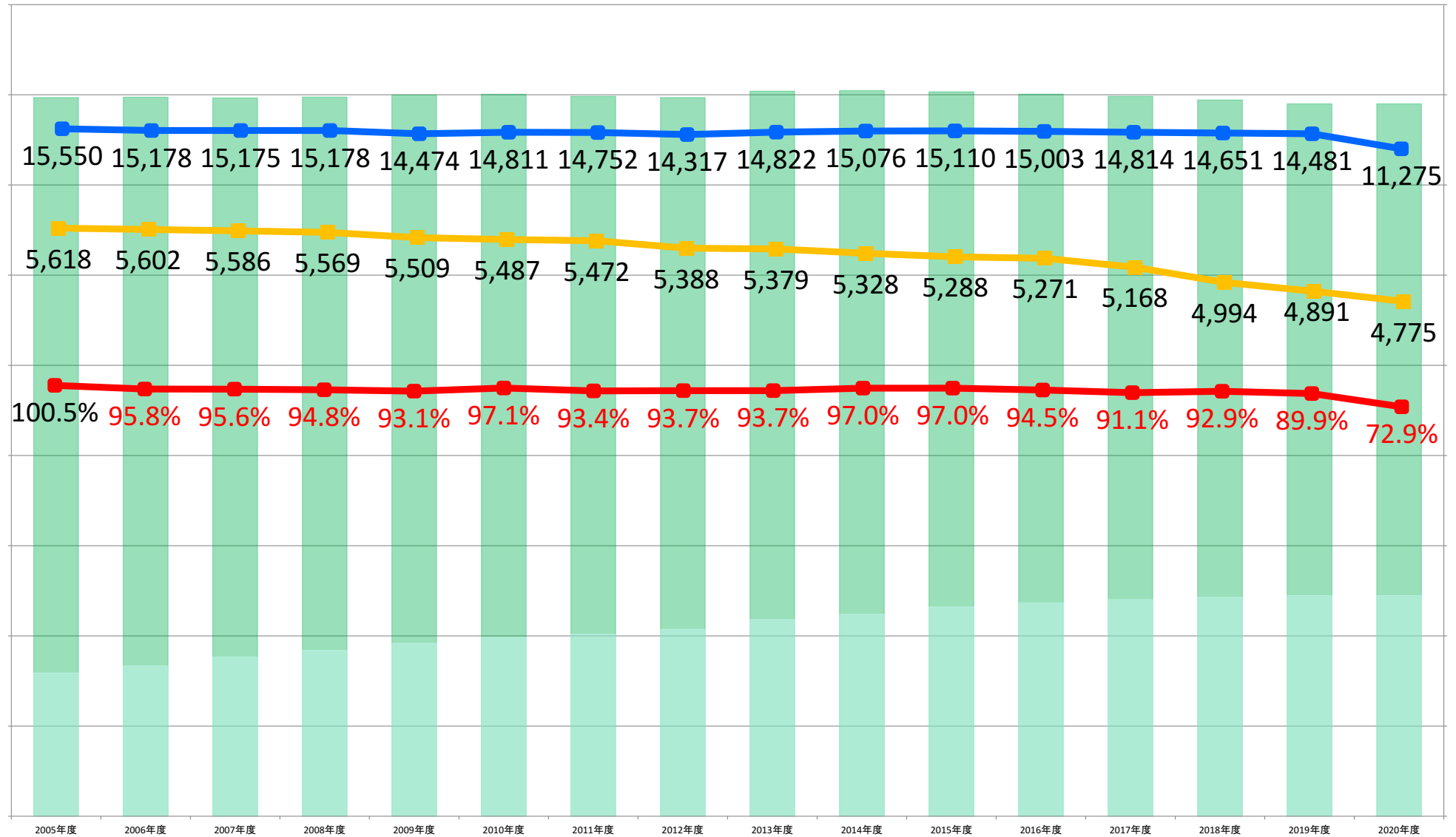
### 第二種大型自動車免許保有者数





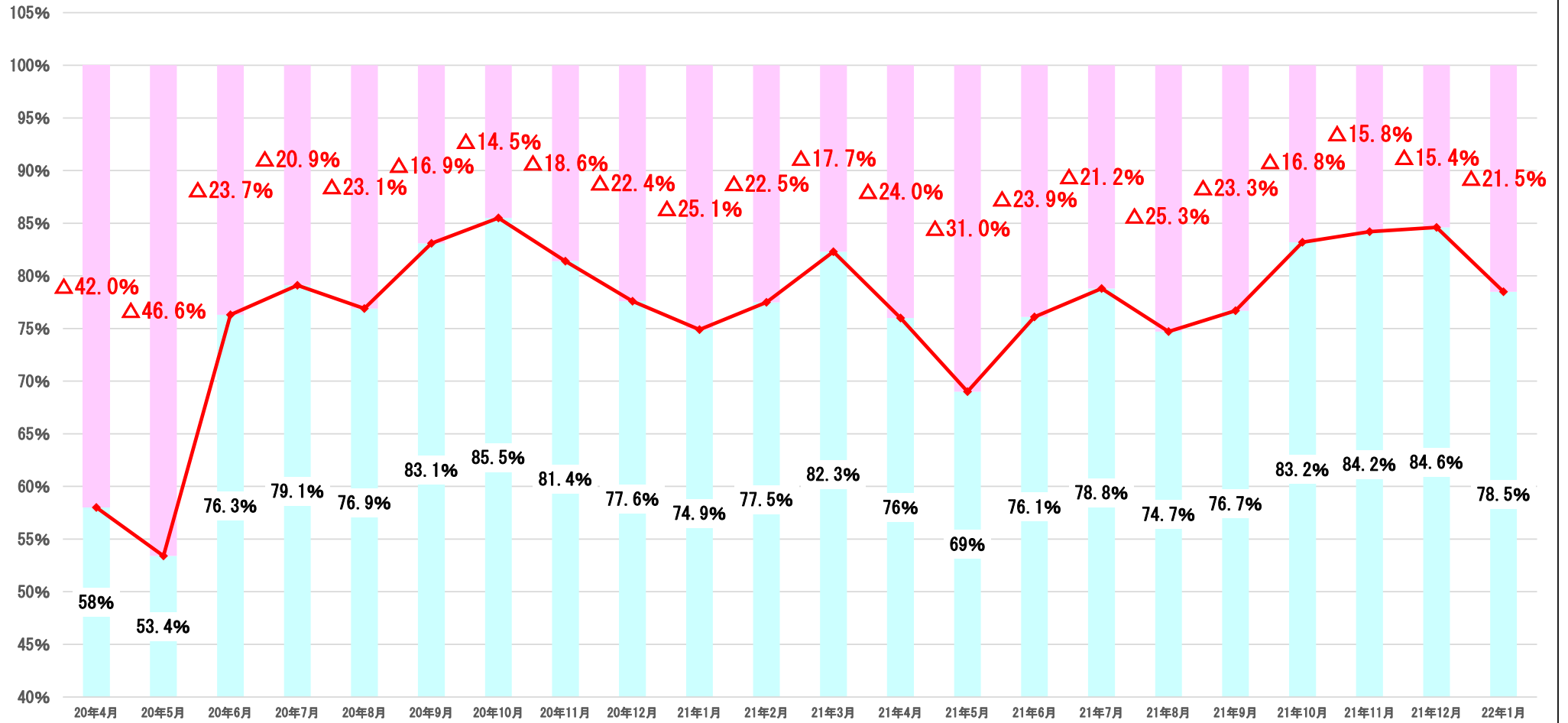
## 川西市域内路線輸送実績 推移表

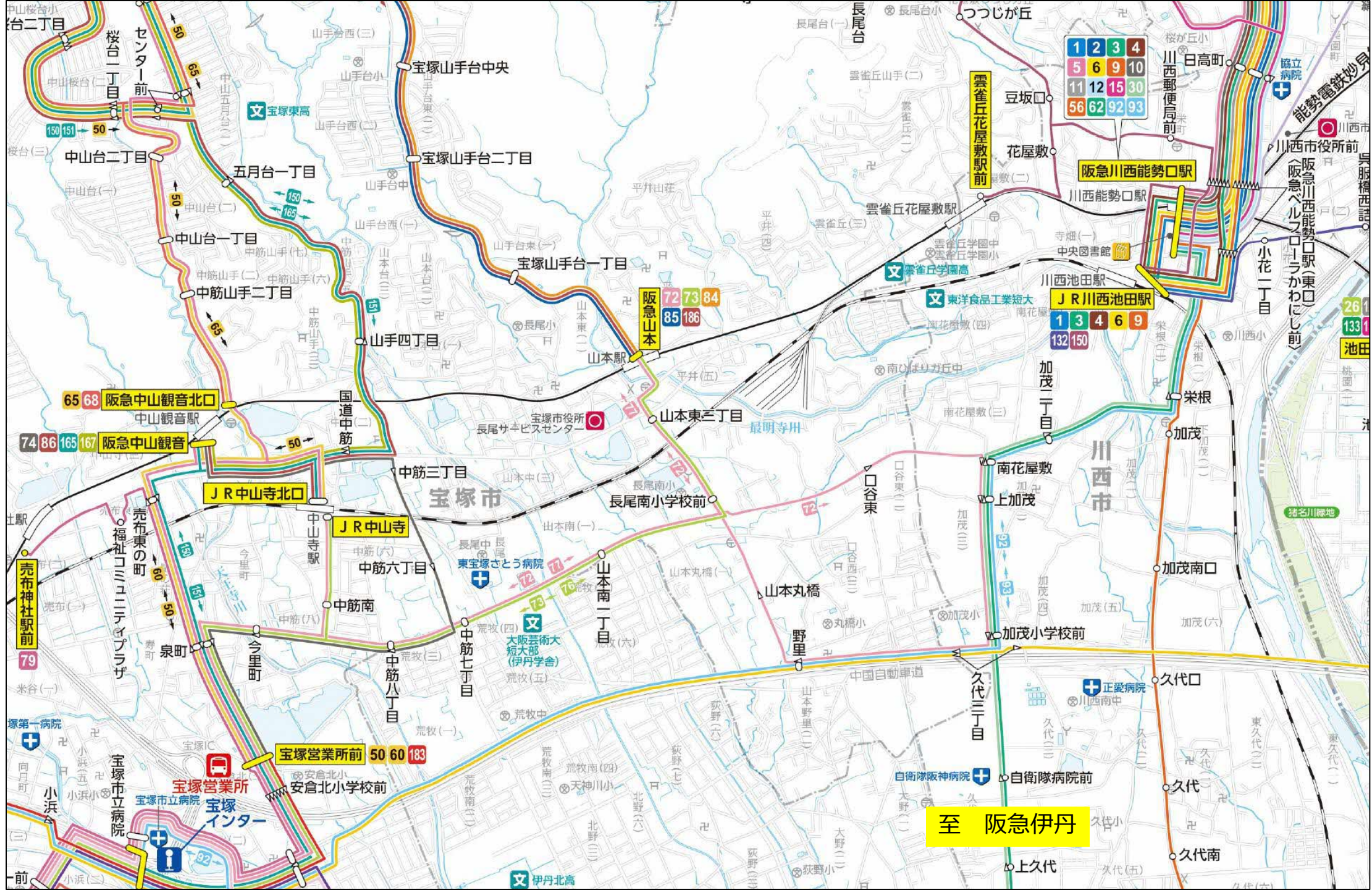
■ 人口 ■ 65歳以上 ■ 輸送人員 (千人/年) ■ 収支率=収入/経費 ■ 実車走行距離 (千km)





〔一般路線〕 運送収入 対2019年度比増減率





至 阪急伊丹

宝塚営業所  
宝塚インター

阪急山本  
72 73 84  
85 186

JR川西池田  
1 3 4 6 9  
132 150

阪急中山観音北口  
65 68  
74 86 165 167

JR中山寺北口

JR中山寺

宝塚営業所前  
50 60 183

## (1)(仮称)川西市公共交通計画策定に係るニーズ調査について

### 1. 前回の川西市地域公共交通会議でのご意見と回答

分類	ご意見	回答
市民交通行動アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10年後、20年後を想定した現状のバスの必要性に関する追加設問を入れてはどうか</li> <li>・ 20年度、30年後の長期ビジョンを見据え、自分の足腰が弱くなった場合の要素を入れてはどうか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「公共交通の利用についての考え方」に関する設問(問10)を追加する</li> <li>・ 市内の主な移動を担っている「能勢電鉄と阪急バスにおける将来の運行方針」に関する設問(問11)を追加する</li> </ul>
公共交通事業者ヒアリング調査 (タクシー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業区域外の配車依頼対応は、そもそもできないのではないかと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ここでいう営業区域/営業区域外の意味は、近畿運輸局が定める区域ではなく、事業者各々で営業している区域/区域外という意味である</li> </ul>
交通不便地の移動課題調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者や障がい者など移動に課題のある方や、福祉の現状に詳しい方(ケアマネージャー、地域包括支援センター)への調査はないのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉分野への調査については、「第5期川西市地域福祉計画(平成30年3月)」や「川西市障がい者プラン2023(平成30年3月)」で把握されているため、実施予定はない</li> </ul>
その他	<b>【交通不便地の設定】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢化率、坂道、平坦、中心市街地か否か、などの視点が必要ではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、交通不便地の現状を把握していく際の指標として検討する</li> </ul>
	<b>【交通不便地の対応策】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定時定路線の交通がない地域、交通があっても利用するのに不便な地域へのサポートをどうするか バスの便数が1便/日では意味がなく、便数を考慮して重み付けを行い、交通不便地を定義している自治体もある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 状況は地域によって異なると考えており、まずはニーズ調査で移動課題を把握し、対応策はこの地域公共交通会議の場で協議していきたい &lt;対応策(案)&gt; まずは既存交通の活用を検討する 新たな交通サービスを導入する場合、地域が主体となって運行する移動手段も検討に含める</li> </ul>
	<b>【計画策定途中における取扱い】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画策定途中における交通事業者の施策は、地域公共交通会議での同意なしに実施できるものと考えて良いのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画策定途中における交通事業者の施策は、道路運送法に基づく協議が必要な案件については、地域公共交通会議で協議を行う</li> <li>・ 交通事業者の予定している施策については、可能な限り情報提供を頂きたい</li> </ul>



(2) 地区別配布部数

- ・配布部数の3,000部を14地区で人口割（調査対象者数（16歳以上）で按分）する

(3) 調査項目と活用イメージ（依頼書と調査票は次ページ以降に添付）

分類	調査項目	活用イメージ
日常的な移動	<よく行く外出先に絞り、平日・土休日で以下を回答> 行先（市町村名、施設名）、目的、頻度、主な移動手段、公共交通を利用した寄り道の有無	日常的な移動状況及び課題の把握、移動環境の評価
	外出時の移動手段に対する困りごととその際の対応、移動手段への不安	
交通手段別の利用頻度と満足度	<JR、阪急電鉄、能勢電鉄、タクシー別に以下を回答> 利用頻度、利用目的、市内の主な乗車駅、駅までの移動手段、満足度 タクシーは設問なし	交通手段別の利用実態及び課題の把握
	<路線バスは以下を回答> 利用頻度、利用目的、利用区間、満足度、利用しにくいと思う点	
公共交通サービスの方針	公共交通の利用についての考え方	方針設定や計画に掲げる施策検討の基礎資料として活用、利用促進に係るポジティブな意見収集
	能勢電鉄、阪急バスにおける将来の運行方針の意向	
	利用者を増やすための取組	
	鉄道やバスが運行していない地域において求める取組	
自由意見	公共交通へのご意見等	気づいていない課題の発見等
個人属性	年齢、郵便番号、自動車運転免許の有無、自由に使える移動手段、公共交通での一人での外出の可否	回答者像の把握、他項目とのクロス集計
移動環境	最寄りの鉄道駅・バス停までの所要時間	交通不便地か否かの区別

4. 公共交通事業者ヒアリング調査

(1) 調査対象

- ・バス事業者 ... 阪急バス株式会社、伊丹市営バス
- ・鉄道事業者 ... 能勢電鉄株式会社、阪急電鉄株式会社、西日本旅客鉄道株式会社
- ・タクシー事業者 ... 市内に本社または営業所を有する法人タクシー事業者5社  
（株式会社フクコ、日の丸ハイヤー株式会社、朝日交通株式会社、有限会社永和、北摂交通株式会社）

(2) 調査項目と活用イメージ

調査項目	活用イメージ
利用状況	地域公共交通会議後の状況確認
維持が困難な区間、持続する上での問題（乗務員不足等）	方針設定や計画に掲げる施策検討の基礎資料として活用
<特にバス事業者> 路線見直し方針・予定の有無	
<特にタクシー事業者> 営業区域、営業区域外の配車依頼の対応	
利用促進への取組に関する意見交換	

5. 交通空白地アンケート調査

(1) 調査対象

- ・交通空白地を有する代表自治会14団体（回答者は代表自治会の会長もしくは役員等で交通空白地に在住の方）

コミュニティ名	自治会名	交通空白地 (駅800m圏・バス停400m圏)	調査対象自治会
久代	東久代1丁目三葉会	東久代1丁目の一部	東久代1丁目三葉会
	東久代西町	東久代2丁目の一部	-（東久代1丁目三葉会へ統合）
多田	新田	新田2・3丁目の一部	-（多田院へ統合）
	多田院	多田院1・2丁目の一部	多田院
多田東	東多田	東多田	-（古坊之下へ統合）
	鼓が滝、古坊之下	鼓が滝2・3丁目の一部	古坊之下
緑台・陽明	多田グリーンハイツ	緑台3丁目の一部、向陽台1~3丁目の一部、水明台3丁目の一部	多田グリーンハイツ
清和台	石道	石道の一部	石道
	虫生	虫生	-（柳谷へ統合）
	赤松	赤松の一部	赤松
	柳谷	柳谷の一部	柳谷
	清和台	清和台東1・2・4丁目の一部、清和台西2~5丁目の一部	清和台
けやき坂	芋生	芋生の一部	-（若宮へ統合）
	若宮	若宮	若宮
	けやき坂	けやき坂4丁目の一部	けやき坂
東谷	西畦野	西畦野、西畦野1丁目の一部	西畦野
	山原	山原1・2丁目の一部	山原
	西緑が丘	緑が丘2丁目の一部	-（山原へ統合）
	一庫	一庫3丁目の一部	一庫
	-（自治会なし）	一庫	-（黒川へ統合）
	-（自治会なし）	国崎	-（黒川へ統合）
	黒川	黒川	黒川
	-（自治会なし）	横路	-（黒川へ統合）

(2) 調査項目と活用イメージ（依頼文を含む調査票は次ページ以降に添付）

調査項目	活用イメージ
自治会における移動支援の実施状況	地域公共交通会議後の状況確認
交通空白地における鉄道や路線バスの状況・課題	日常的な移動状況及び課題の把握
交通空白地以外における鉄道や路線バスの状況・課題	
タクシー利用の状況	
交通空白地における移動サービスの必要性、移動に必要なサービス等	計画に掲げる施策検討の基礎資料として活用

# (仮称)川西市公共交通計画の策定に係る アンケート調査

## ご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。  
市では、公共交通を取り巻く環境変化に対応し、持続可能な公共交通を確保するため、「(仮称)川西市公共交通計画」の策定を進めています。

本調査は、市民の皆さまの普段の外出状況や公共交通の利用状況等を把握し、計画策定のための基礎資料とするため実施するもので、市内にお住まいの16歳以上の方々から無作為抽出した3,000名を対象にお送りしています。回答いただいた内容は全て統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年4月 川西市長 越田謙治郎

### 【回答にあたってのお願い】

1. 封筒の宛名の方がご回答ください。(ご本人の記入が難しい場合は、ご家族や周りの方が代筆をお願いします。)
2. 回答は、「1つに」「3つまでに」「全てに」などの表記に従って、該当する番号に を付けてください。(一部、番号の記述をお願いする設問もあります。)
3. 「その他」を選択された場合や記述式の質問は、( )内に具体的な内容をご記入ください。

ご記入いただいた調査票は、**令和4年〇月〇日( )**までに、同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください。(切手は不要です。)

<問い合わせ先>

川西市 土木部 交通政策課

TEL 072-740-1180 (直通)

FAX 072-740-1306

# (仮称)川西市公共交通計画の策定に係るアンケート調査票

右の番号はお住まいのコミュニティ地区を判別するためのものです  
個人を特定するものではありません

## 1. 最もよく行く外出先について

問1 日常生活で、最もよく行く外出先について、平日と土休日それぞれでお答えください。

平日	
主な行き先 (1つに○)	1. 川西市内(施設名: ) 2. 川西市外(市町村名: 施設名: )
その目的 (1つに○)	1. 通勤      2. 通学      3. 買い物      4. 通院 5. 趣味・レジャー・娯楽      6. その他( )
そこに行く頻度 (1つに○)	1. ほぼ毎日      2. 週に3~4日      3. 週に1~2日 4. 月に数日      5. 月に1日未満
主な移動手段 (普段利用するもの全てに○)	1. JR西日本      2. 能勢電鉄      3. 阪急電鉄 4. 路線バス      5. タクシー      6. 車(自分で運転) 7. 車(家族や知人の送迎)      8. バイク・原付      9. 自転車 10. 徒歩のみ      11. その他( )
寄り道 をする ことはあります か。(1つに○)	<u>鉄道やバスを利用して、目的地とは別の場所に寄ること</u> 1. ほぼ毎回、寄り道する      2. 2回に1度くらい      3. たまに寄り道をする 4. ほとんどしない

土休日	
主な行き先 (1つに○)	1. 川西市内(施設名: ) 2. 川西市外(市町村名: 施設名: )
その目的 (1つに○)	1. 通勤      2. 通学      3. 買い物      4. 通院 5. 趣味・レジャー・娯楽      6. その他( )
そこに行く頻度 (1つに○)	1. 毎週      2. 2週間に1日程度      3. 月に1日程度 4. 2~3か月に1日      5. 年に数回      6. 年に1日未満
主な移動手段 (普段利用するもの全てに○)	1. JR西日本      2. 能勢電鉄      3. 阪急電鉄 4. 路線バス      5. タクシー      6. 車(自分で運転) 7. 車(家族や知人の送迎)      8. バイク・原付      9. 自転車 10. 徒歩のみ      11. その他( )
寄り道 をする ことはあります か。(1つに○)	<u>鉄道やバスを利用して、目的地とは別の場所に寄ること</u> 1. ほぼ毎回、寄り道する      2. 2回に1度くらい      3. たまに寄り道をする 4. ほとんどしない

## 2. 外出時の移動手段で困ること

問1の最もよく行く外出先を含む

問2 普段の外出の際に、移動手段がなくて困ることはありますか。(1つに○)

1. よくある      2. たまにある      3. ない

副問 問2で1, 2と回答された方へ 困る時はどのようにされていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 送迎してもらう      2. 徒歩または自転車で移動する      3. 近場の違う施設を利用する  
4. 外出することをあきらめる  
5. その他( )

問3 外出の際に利用する移動手段について、不安に感じることはありますか。(1つに○)

1. 全く感じない                      2. あまり感じない                      3. 少し感じる                      4. 強く感じる

副問 問3で3, 4と回答された方へ どのような不安を感じますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 車の運転が不安になってきた                      2. 将来運転できなくなったときに心配  
 3. 送迎してもらるのが負担に感じる                      4. バスや鉄道が将来的に存続できるか心配  
 5. 車内でのコロナ感染が不安                      6. その他( )

### 3. 鉄道やタクシーについてお聞きします

問4 鉄道やタクシーの利用状況についてお答えください。

	J R	阪急電鉄	能勢電鉄	タクシー
利用頻度 (1つに○)  6, 7と回答された方は問5へ	1. ほぼ毎日 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に数日 5. 月に1日未満 6. ほぼ利用しない 7. 利用したことがない	1. ほぼ毎日 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に数日 5. 月に1日未満 6. ほぼ利用しない 7. 利用したことがない	1. ほぼ毎日 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に数日 5. 月に1日未満 6. ほぼ利用しない 7. 利用したことがない	1. ほぼ毎日 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に数日 5. 月に1日未満 6. ほぼ利用しない 7. 利用したことがない
利用目的 (あてはまるもの全てに○)	1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. 趣味・レジャー・娯楽 6. その他 ( )	1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. 趣味・レジャー・娯楽 6. その他 ( )	1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. 趣味・レジャー・娯楽 6. その他 ( )	1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. 趣味・レジャー・娯楽 6. その他 ( )
市内の主な乗車駅	( ) 駅	( ) 駅	( ) 駅	
駅までの移動手段 (主なもの1つに○)	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. バイク・原付 4. 車(自分で運転) 5. 車(家族や知人の送迎) 6. 路線バス 7. その他 ( )	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. バイク・原付 4. 車(自分で運転) 5. 車(家族や知人の送迎) 6. 路線バス 7. その他 ( )	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. バイク・原付 4. 車(自分で運転) 5. 車(家族や知人の送迎) 6. 路線バス 7. その他 ( )	
満足度 (1つに○)	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. わからない	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. わからない	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. わからない	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. わからない

### 4. 路線バスについてお聞きします。

問5 市内の路線バスをどの程度利用しますか。(1つに○)

1. ほぼ毎日                      2. 週に3~4日                      3. 週に1~2日                      4. 月に2~3日  
 5. 月に1日未満                      6. ほぼ利用しない →問9へ                      7. 利用したことがない →問9へ



問6 どのような目的で利用しますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 通勤                      2. 通学                      3. 買い物                      4. 通院  
5. 趣味・レジャー・娯楽    6. その他(                      )

問7 よく利用される区間はどこですか。

(                      )バス停～(                      )バス停

問8 市内の路線バスの満足度についてお答えください。(1つに○)

1. 満足                      2. やや満足                      3. やや不満                      4. 不満                      5. わからない

問9 路線バスを利用しにくいと思う点がありますか。(3つまでに○)

1. 家からバス停が遠い                      2. 行きたいところにバスが走っていない                      3. 目的地まで時間がかかる  
4. 運行本数が少ない                      5. 利用したい時間に走っていない                      6. 渋滞などで運行が遅れる  
7. 鉄道との乗り継ぎが不便                      8. 運賃が高い                      9. 時刻や路線がわかりにくい  
10. 車両乗降口の段差が大きい                      11. バス停に屋根やベンチがない                      12. 特にない  
13. その他(                      )

## 5. 今後の公共交通サービスについて

全国的に、利用者の減少で鉄道や路線バスが廃止や減便されており、能勢電鉄や阪急バスなどの市内の公共交通においても、生活様式の変化による利用者の減少や燃料費の高騰で、減便などを考えなければならない状況です。川西市では、阪急バスの一部路線に対する運行補助やノンステップバス購入補助を行っており、他の市町では、市町や地域団体がコミュニティバスや乗合タクシーを運行しているところもあります。

問10 このまま公共交通利用者が減少していくと、将来必要な時、利用したくても公共交通がなくなっている可能性があります。公共交通の利用についての考え方をお聞かせください。(1つに )

1. 現在も利用しており、将来のために引き続き利用する  
2. 今は利用していないが、なくなったら困るため、できるだけ利用したい  
3. なくなったら困るが、今は利用しない                      4. なくなってもかまわないので、今後も利用しない  
5. わからない                      6. その他(                      )

問11 能勢電鉄や阪急バスの運行についてどのようにお考えですか。10年、20年後(免許返納後など)を想定して、それぞれあてはまる番号を選択肢から選び  内にご記入ください。(それぞれ1つに )

能勢電鉄                       阪急バス

1. 市が補助し、現在の運賃や運行本数を維持する  
2. 利用者や地域住民が負担して現在の運行本数を維持する(例:運賃値上げ、地域団体による回数券の購入など)  
3. 市の補助と利用者や地域住民の負担で、現在の運行本数を維持する  
4. 市の補助や利用者や地域住民には負担させず、減便などを行う  
5. その他(                      )

問12 公共交通利用者を増やすためにどのような取組があれば良いと思いますか。(3つまでに○)

1. 鉄道とバス、バス同士の乗り継ぎを便利にする(乗継時間の短縮、乗継料金の導入など)  
2. 駅の段差解消や車両のバリアフリー化(ノンステップバスなど)を促進する  
3. 駅やバス停近くの駐輪スペースを充実させる  
4. 自動車運転免許自主返納者へ公共交通の割引サービスを導入する  
5. 高齢者割引料金を導入する  
6. 高齢者等がタクシーを利用する際に割引券を配布する  
7. その他(                      )

問 13 鉄道や路線バスが走っていない地域において、どのような取り組みをすれば良いと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 停留所で乗降する公共交通(コミュニティバスなど)を導入する
2. 予約したら自宅付近まで送迎してくれる公共交通(デマンド型乗合タクシーなど)を導入する
3. 高齢者等へのタクシーの割引券を配布する
4. 地域団体が高齢者等への送迎サービスを導入する際に市が補助をする
5. その他( )
6. わからない

## 6. 公共交通へのご意見等をお聞かせください

## 7. 最後に、あなた自身について

問 14 年齢(1つに○)

- |           |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満  | 2. 20~29歳 | 3. 30~39歳 | 4. 40~49歳 | 5. 50~59歳 |
| 6. 60~64歳 | 7. 65~69歳 | 8. 70~74歳 | 9. 75~79歳 | 10. 80歳以上 |

問 15 自宅の郵便番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問 16 自動車運転免許の保有(1つに○)

- |                          |                   |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 持っていて運転している(バイク・原付含む) | 2. 持っているが運転しない    |
| 3. 持っていたが返納した            | 4. 持っているが返納を考えている |
| 5. 取得していない               |                   |

問 17 自由に使える移動手段(あてはまるもの全てに○)

- |             |             |           |
|-------------|-------------|-----------|
| 1. 車(自分で運転) | 2. 車(家族の送迎) | 3. バイク・原付 |
| 4. 自転車      | 5. なし       | 6. その他( ) |

問 18 公共交通を使ってひとりで外出できますか(1つに○)

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 1. ひとりで外出できる        | 2. 家族等の介助で外出できる       |
| 3. 介護サービスを利用し外出できる  | 4. 身近に介助者がいないため外出できない |
| 5. 子どもと一緒にないと外出できない | 6. その他( )             |

問 19 最寄りの鉄道駅までの所要時間(1つに○)

- |            |             |          |
|------------|-------------|----------|
| 1. 歩いて( )分 | 2. 徒歩ではいけない | 3. わからない |
|------------|-------------|----------|

問 20 最寄りのバス停までの所要時間(1つに○)

- |            |             |          |
|------------|-------------|----------|
| 1. 歩いて( )分 | 2. 徒歩ではいけない | 3. わからない |
|------------|-------------|----------|

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、 月 日( )までに、同封の返信用封筒に入れてポストに投函ください。

## (仮称)川西市公共交通計画の策定に係る自治会アンケート調査

### 調査の目的

- ・川西市では、公共交通を取り巻く環境変化に対応し、持続可能な公共交通を確保するため、『(仮称)川西市公共交通計画』の策定に取り組んでいます。
- ・計画策定の参考とするため、川西市内で鉄道や路線バスが運行されていない地域(交通空白地)を有する自治会を対象に、交通空白地における移動課題をお聞きするためのアンケート調査を実施いたします。
- ・アンケートは、自治会の会長もしくは役員の方などで、交通空白地にお住まいの方にご回答いただけますと幸いです。

### 交通空白地の設定について

- ・鉄道や路線バスの利用が難しいエリアを定める一定の基準として、交通空白地となる条件を下記のように設定しています。

鉄道駅から 800m、バス停から 400m以上離れた地域 かつ 市民の住所地がある地域

鉄道駅：徒歩 10 分    800m    バス停：徒歩 5 分    400m

- ・上記の条件に当てはまる地域としては、次ページ表の町丁目が該当します。

ご記入いただいた調査票は、**令和4年〇月〇日( )**までに、同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください。(切手は不要です。)

### <問い合わせ先>

川西市 土木部 交通政策課

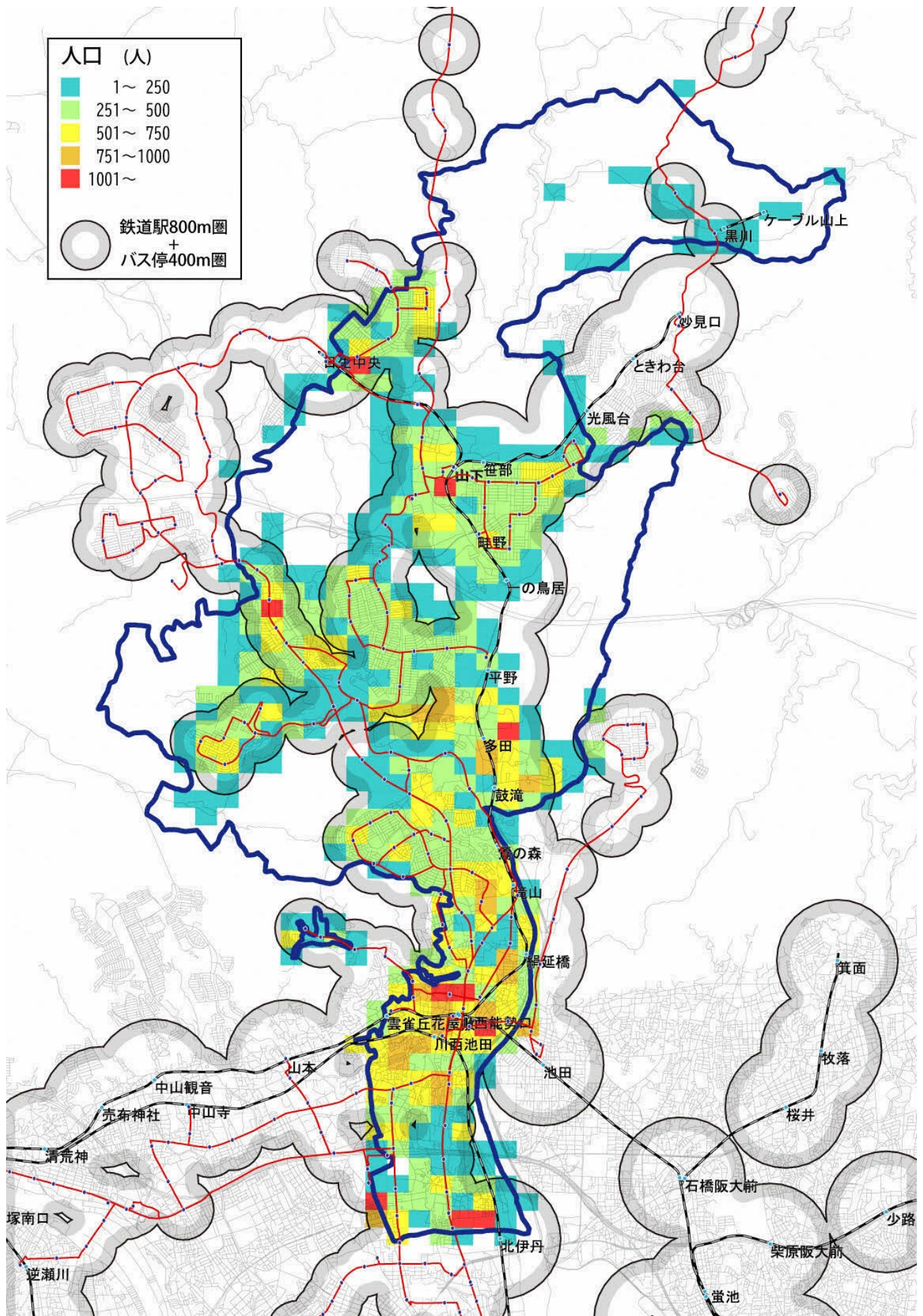
TEL 072-740-1180 (直通)

FAX 072-740-1306

交通空白地(鉄道駅から 800m、バス停から 400m以上離れた地域 かつ 市民の住所地がある地域)  
の一覧

コミュニティ名	自治会名	交通空白地 ( 駅 800m圏・バス停 400m圏 )
久代	東久代 1 丁目三葉会	東久代 1 丁目の一部
	東久代西町	東久代 2 丁目の一部
多田	新田	新田 2・3 丁目の一部
	多田院	多田院 1・2 丁目の一部
多田東	東多田	東多田
	鼓が滝、古坊之下	鼓が滝 2・3 丁目の一部
緑台・陽明	多田グリーンハイツ	緑台 3 丁目の一部、 向陽台 1~3 丁目の一部、 水明台 3 丁目の一部
清和台	石道	石道の一部
	虫生	虫生
	赤松	赤松の一部
	柳谷	柳谷の一部
	清和台	清和台東 1・2・4 丁目の一部、 清和台西 2~5 丁目の一部
けやき坂	芋生	芋生の一部
	若宮	若宮
	けやき坂	けやき坂 4 丁目の一部
東谷	西畦野	西畦野、 西畦野 1 丁目の一部
	山原	山原 1・2 丁目の一部
	西緑が丘	緑が丘 2 丁目の一部
	一庫	一庫 3 丁目の一部
	-	一庫
	-	国崎
	黒川	黒川
	-	横路

川西市における人口分布、及び鉄道駅 800m・バス停 400m 圏域



## 貴自治会の拡大図

各自治会それぞれの拡大図を記載予定

## < 調査票 >

あてはまる番号に をつけるか、( ) 内に具体的な内容をご記入ください。

### 1 . 回答者ご自身及び自治会について

あなたが所属している自治会名をお答えください・・・( )

あなたがお住まいの町丁目をお答えください・・・( )

あなたが所属している自治会では、自治会等が主体となった移動支援を行っていますか。行っている場合はその内容をお答えください。

(例：多田グリーンハイツ自治会が実施している「ボランティアドライバーによる地域内のスーパーへの送迎サービス(お出かけ支援)」など)

### 2 . 公共交通を利用するうえでの課題について

あなたが所属している自治会において、鉄道や路線バスを利用しにくく、移動にお困りの地域はありますか。( 2 ページ目の交通空白地についてお答えください)

A : ある

B : ない



→ 次ページの設問 にお進みください。

ある場合には、その地域をお答えください。

その場所・・・( )

**4 ページの拡大図にそのエリアを枠で示してください。**

その場所が鉄道や路線バスを利用しにくい理由や、お困り事をお答えください

(例：バス停まで距離が遠い、バス停までの高低差が大きい、高齢者が多く徒歩でのアクセスが困難、公共交通の運行本数が少ない、利用したい時間帯が合わない など)

2ページ目の交通空白地とは別の地域でも、鉄道やバスを利用しにくく、移動にお困りの地域があれば、その地域をお答えください。

その場所・・・( )

4ページの拡大図にそのエリアを枠で示してください。

その場所が鉄道やバスを利用しにくい理由や、お困り事をお答えください

(例：バス停まで距離が遠い、バス停までの高低差が大き、高齢者が多く徒歩でのアクセスが困難、公共交通の運行本数が少ない、利用したい時間帯が合わない など)

あなたが所属している自治会において、タクシーを利用する際にお困りごとはありますか。

A：ある

B：ない



→ 次ページの設問3にお進みください。

ある場合には、下記より当てはまるもの全てにチェック(✓)を付けてください。

- タクシーを呼んでも来てくれない地域がある (地域名： )
- タクシーを呼んでも到着まで時間がかかる (約 分)
- 利用したい店舗や施設が遠いため、タクシーの利用料金が高くなる
- 夜間など、利用したい時間にタクシーが営業していない
- 福祉輸送(付き添い介助、車いす車両等)に対応したタクシーを利用できない・呼んでも来ない
- その他、タクシー利用にあたってお気付きの点があればお答えください

(例：道路が狭く家の前まで来てくれない など)



### 3 . 交通空白地への移動支援の必要性について

能勢電鉄や阪急バスなどの市内の公共交通は、生活様式の変化によって利用者が減少しており、減便などを考えなければならない状況となっています。また、阪急バスにおいては、市内の全路線が赤字で、採算の取れない新規路線の運行開始はもとより、現路線の継続も危ぶまれています。

**自家用車で移動しなくてもすむような、自治会内における移動サービス(コミュニティバス・乗合タクシー・ボランティア送迎など)は必要ですか。(1つに○)**

- 1 . 子どもや高齢者などのために新たな移動サービスが今すぐ必要
- 2 . 将来のために新たな移動サービスが必要(免許返納後など)
- 3 . 必要でない

(理由: 例 既存交通で満足している )

- 4 . わからない

**移動に困っている方が、より便利に公共交通を利用できるためのアイデアや、移動に必要なサービスなどを思いつけば、お答えください。**

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

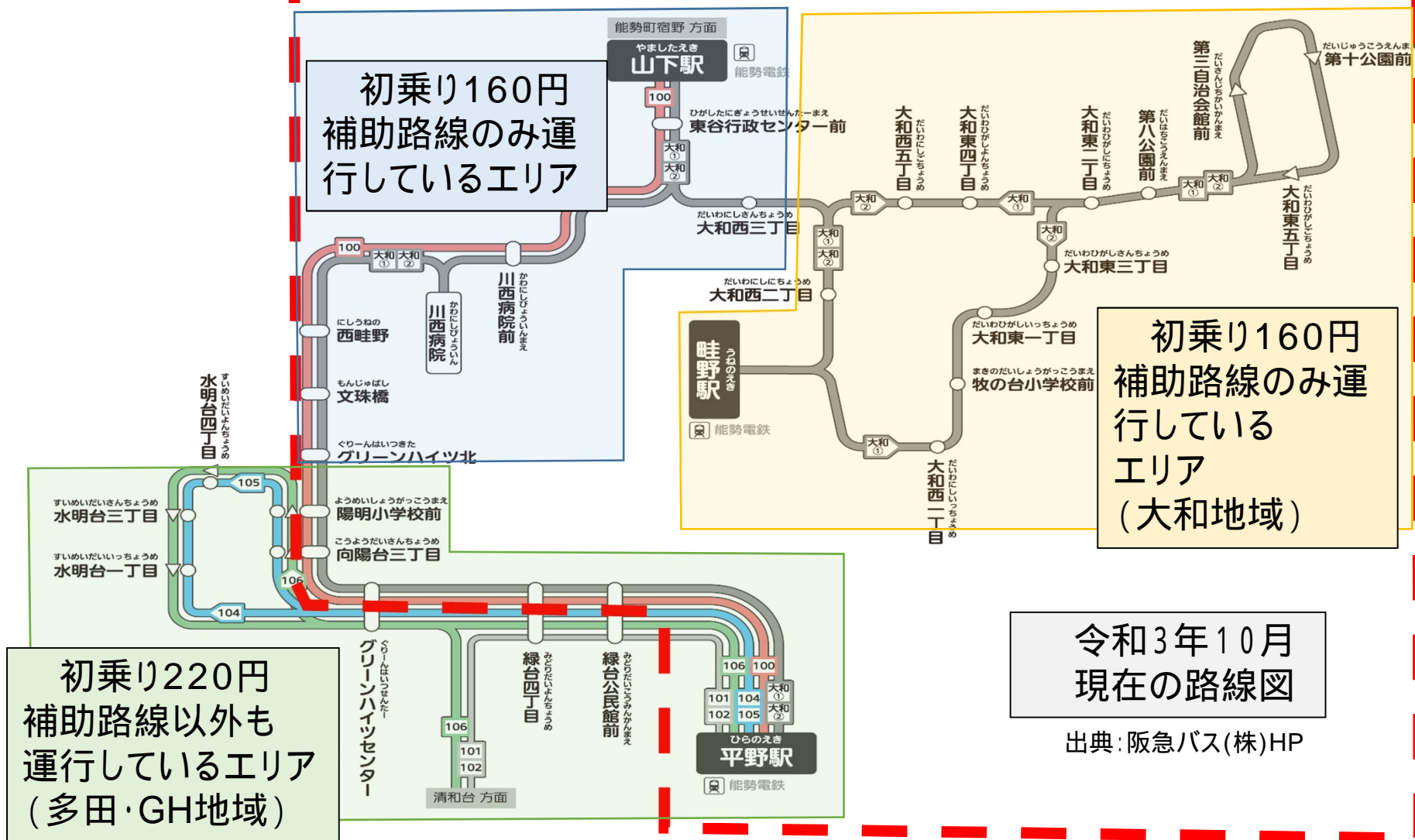


(2)

# 補助路線の現状と 補助路線の持続可能な バス運行の検討について

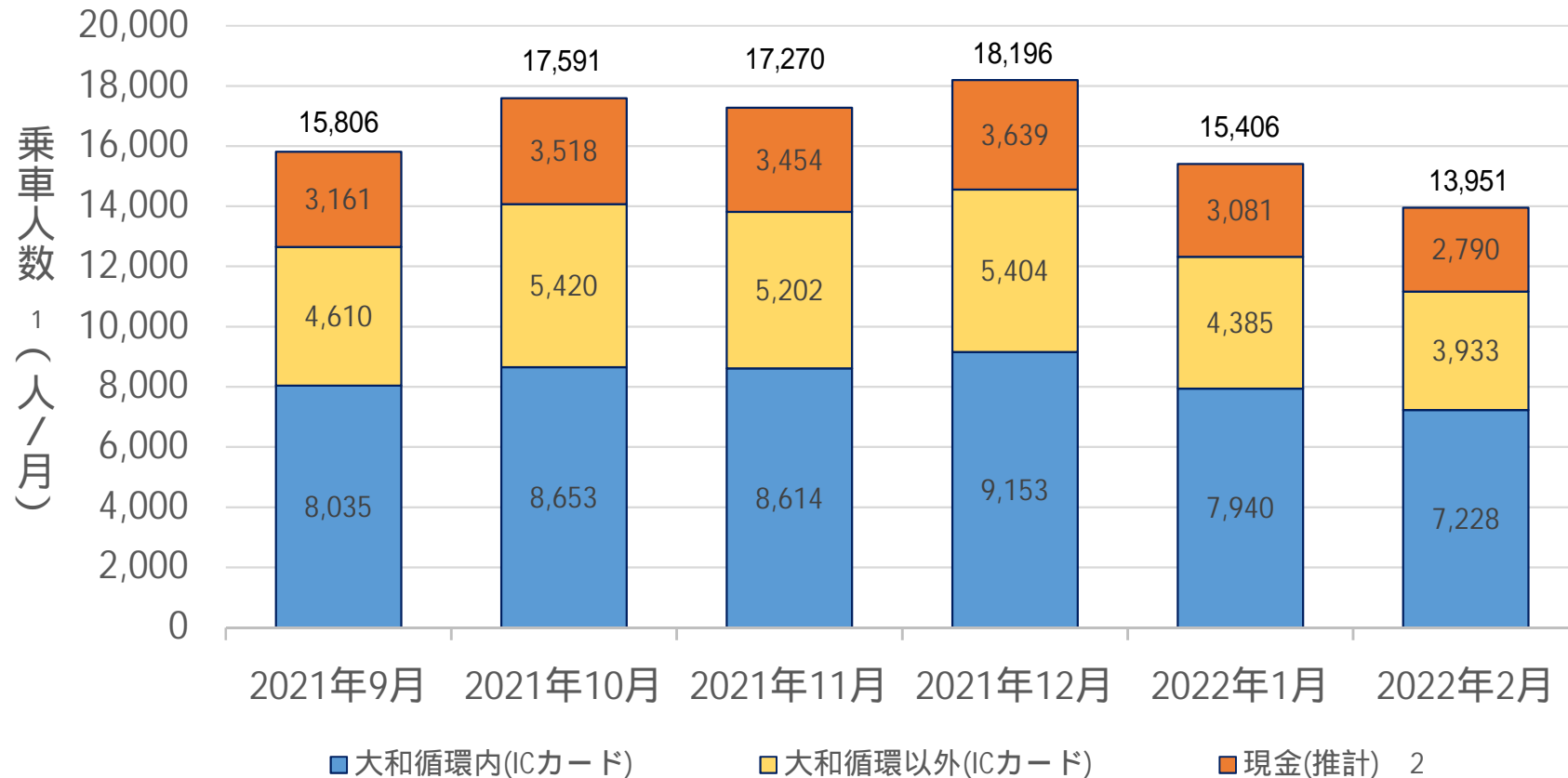
# 路線図の概要

## 市内唯一の補助路線



# 乗車人数等の推移(1)

## 補助路線全体におけるICデータに基づく乗車人数



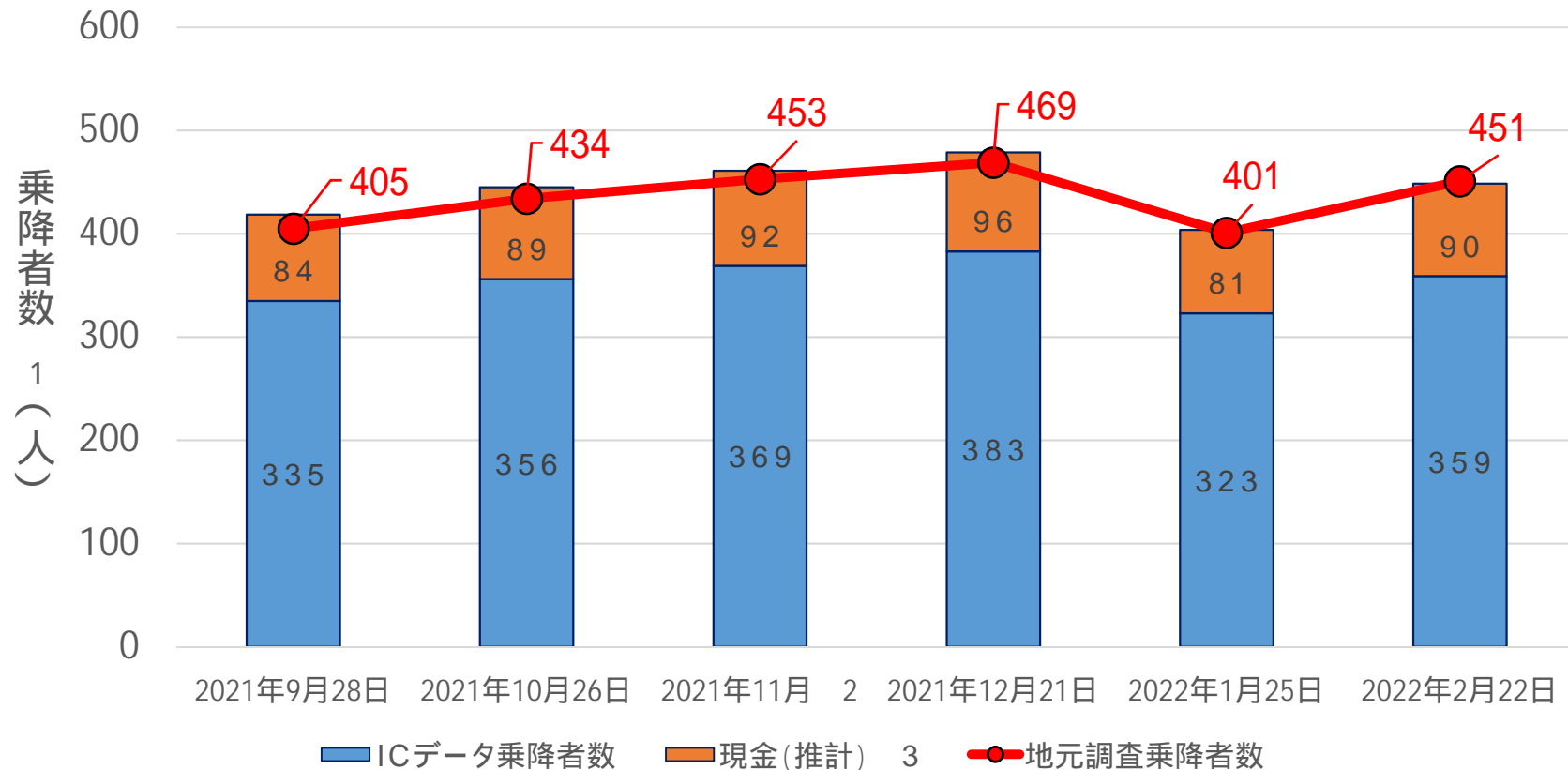
1 平日・休日を含めたICデータを基にした乗車人数

2 現金(推計)・・・現金利用者とICカード利用者の割合は1:4として計算した

データ提供: 阪急バス(株)

## 乗車人数等の推移(2)

### 畦野駅におけるICデータ乗降者数と地元調査乗降者数の比較



1 畦野駅における乗降者数

2 2021年11月は、11月8日(月)～11月12日(金)の平均を表示している

3 現金利用者とICカード利用者の割合は1:4として計算した

データ提供: 阪急バス(株)、大和交通検討委員会

# 事業の継続が可能な運行案について

## シミュレーション比較

三者(市、地域、阪急バス)の間で合意に至っていない案です

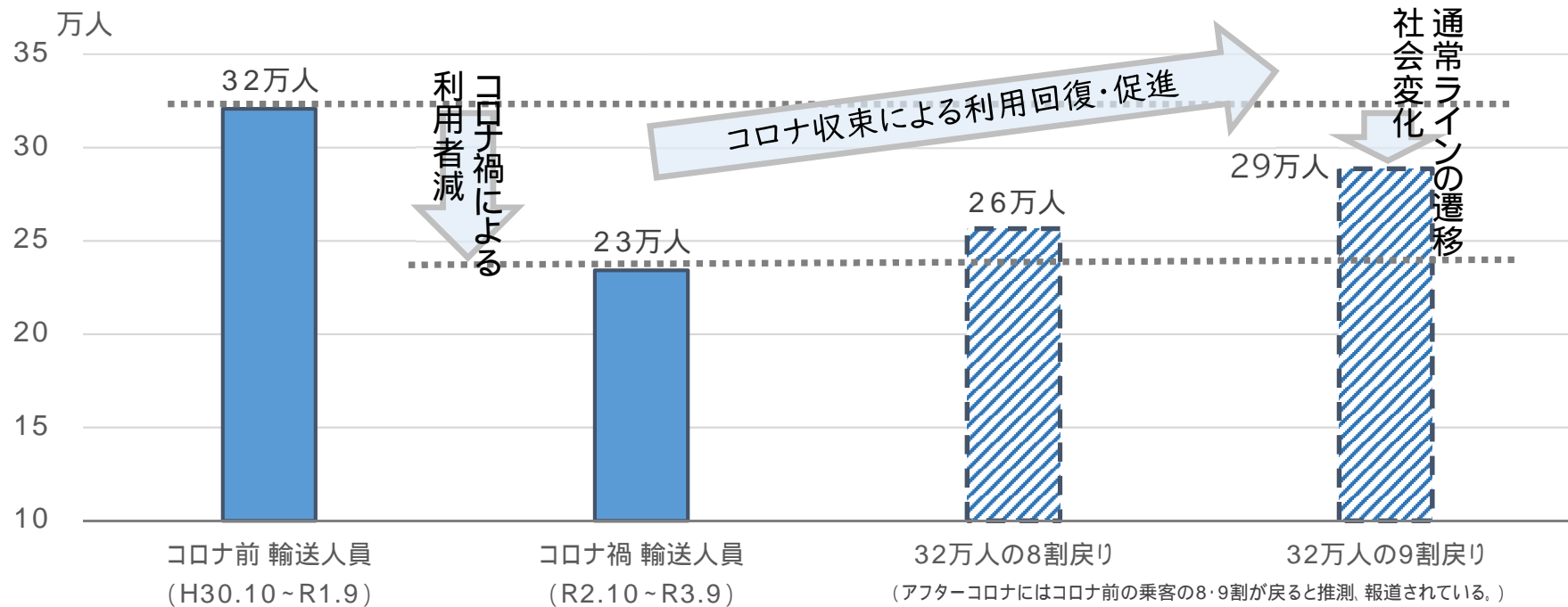
		現行		A 案		B 案	
		平日	土休日	平日	土休日	平日	土休日
台数・運転士数		4台・5人	3台・3人	2台・3人	1台・1人	2台・2人	1台・1人
便数	大和	38	21	38	12	30	12
	平野-山下	32 (100)	16 (67)	6 (100)	4 (67)	7 (100)	4 (67)
	合計	53	21	44	16	37	16
運賃	多田GH以外	160円		220円		220円	
	多田GH	220円		220円		220円	
経費		77,261千円		44,118千円		36,155千円	
32万人利用時の 収入から試算	収入	40,298千円		30,562千円		28,686千円	
	収支差	36,963千円		13,556千円		7,469千円	
23万人利用時の 収入から試算	収入	30,214千円		22,914千円		21,508千円	
	収支差	47,047千円		21,204千円		14,647千円	

32万人...2018年10月～2019年9月の実績、23万人...2020年10月～2021年9月の実績  
( )内は阪急バス(株)が平野駅-陽明小学校前において運行している便数(市補助便数除く)

# 市の再提案について(1)

前回の地域公共交通会議の展開や、現下のコロナ禍であることを再度踏まえ、コロナ禍において沿線住民の努力により利用増加などの対応が困難な部分について、短期的対策として次のように市が支援することを再提案する。

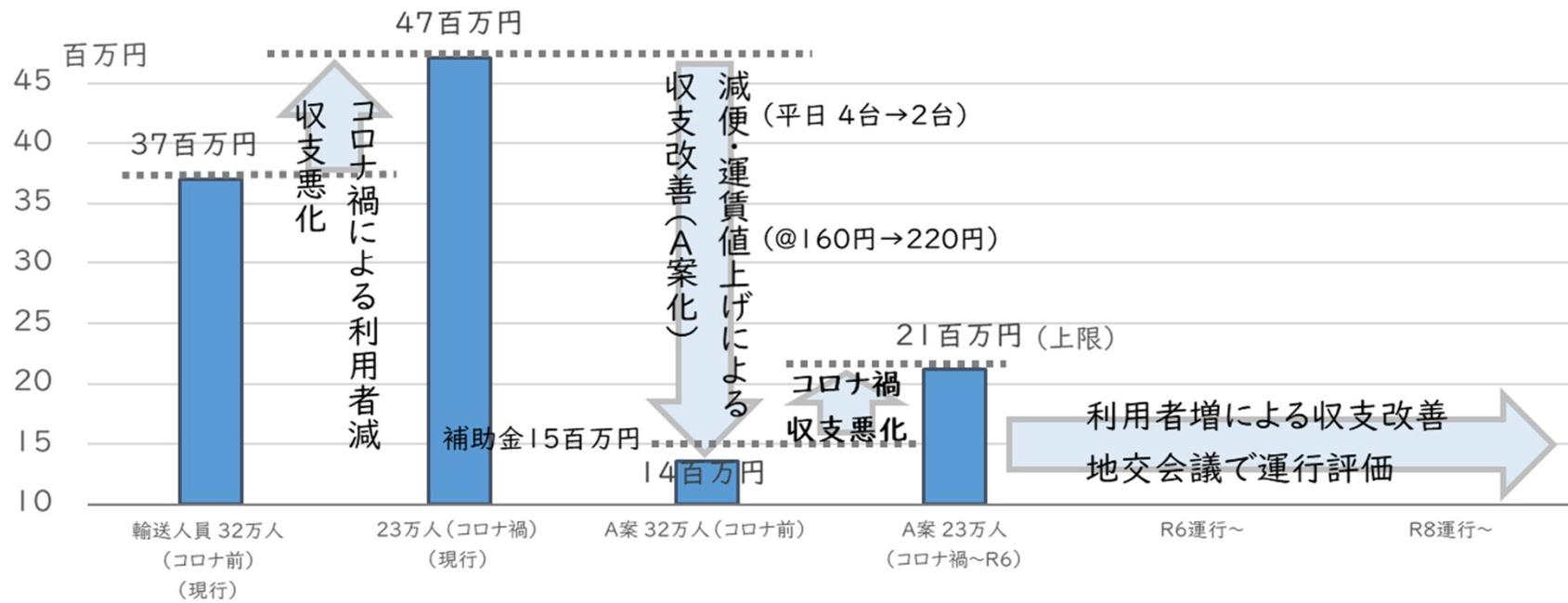
## 輸送人員の推移と予測



輸送人員：阪急バスが算定する輸送した旅客の総人員数のこと。実際の乗客数とは異なる。

# 市の再提案について(2)

## 運行収支差の見積り(補助金除く)

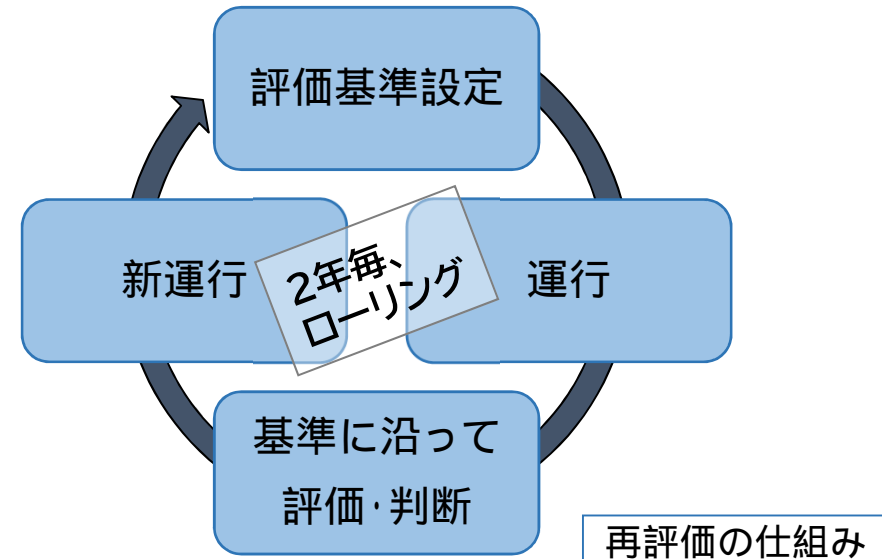




# 市の再提案について(3)

## 運行評価を地域公共交通会議で検討

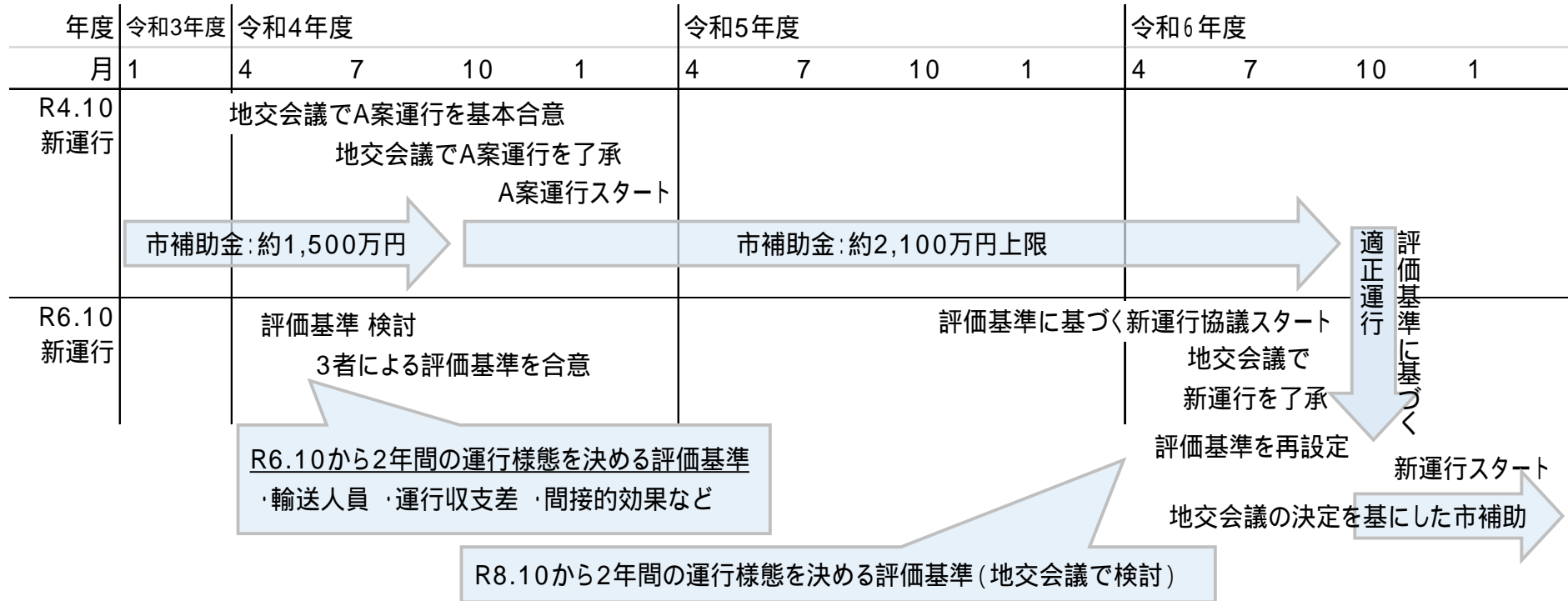
- ・今般のコロナ禍による利用者減の収支差を市が2年間支援し、その後の運行は地域公共交通会議で2年ごとに輸送人員やまちづくりへの間接的効果などの評価基準を設定し、適正に判断していく。



- ・また、阪急バスの市内運賃220円が変更された場合は、それに合わせる。  
(補助路線に関しては、地域公共交通会議における協議が必要)
- ・ただし、R6年以降、地域公共交通会議あるいは(仮称)川西市公共交通計画において市内統一的なルールが定めればそれに従って運行する。

# 市の再提案について(4)

## スケジュール



市補助金...市議会での予算審議を経て決定される。

# 活動報告



- 11月 9日 第35回 大和交通検討委員会** 地域(9人)川西市(4人)阪急バス(3人)コンサル(1人) 西山議員
- 11月 8日~14日 哇野駅前バス調査** (コミュニティ・大和自治会・福祉委員会)
- 11月22日 第36回 大和交通検討委員会** 地域(7人) 西山議員
- 11月26日 第37回 大和交通検討委員会** 地域(8人)川西市(1人)
- 12月13日 川西市議会に陳情書提出**
- 12月14日 第38回 大和交通検討委員会** 地域(9人)川西市(4人)阪急バス(3人)コンサル(1人) 西山議員
- 12月17日 第39回 大和交通検討委員会** 地域(9人) 西山議員
- 12月21日 哇野駅前バス調査** (コミュニティ・大和自治会・福祉委員会)
- 12月24日 第40回 大和交通検討委員会** 地域(9人)川西市(4人)阪急バス(3人)コンサル(1人) 西山議員
- 1月11日 第41回 大和交通検討委員会** 地域(9人)川西市(4人)阪急バス(3人)コンサル(1人) 西山議員
- 1月21日 第42回 大和交通検討委員会** 地域(9人) 西山議員
- 1月25日 哇野駅前バス調査** (コミュニティ・大和自治会・福祉委員会)
- 1月27日 令和3年度第2回川西市地域公共交通会議** (傍聴6人)(議員傍聴7人)
- 1月28日 第43回 大和交通検討委員会** 地域(9人) 西山議員
- 2月 2日 土木部交通政策課小西課長大和来訪** 地域(4人)
- 2月 8日 第44回 大和交通検討委員会** 地域(9人)阪急バス(2人) 西山議員 ※川西市は欠席  
阪急バスと懇談。地域の現状、考え方を伝えました。
- 2月10日 川西市議会4会派と面会** (議員4人)(大和4人)西山議員同席  
請願書提出の趣旨説明をし、今後の打ち合わせをしました。
- 2月14日 大和交通検討委員会臨時会議** 地域(9人) 西山議員  
2月16日請願書提出に向け最終見直し
- 2月16日 請願書提出**  
黒田美智議員・磯部裕子議員が紹介議員にご署名いただきました。西山議員は建設常任委員会に所属しているため紹介議員になれません。地元議員として共にバス問題に取り組んでいただいています。請願書提出にもご尽力いただきました。これからもよろしくお願ひします!!

## 募金会計報告(令和3年12月31日現在)

皆さまから296,034円の募金いただきました。使用目的は大和バスだより発車オーライの発行です。発車オーライ発行経費は307,912円6月~12月までの7回分の発行に使わせていただきました。(各4200枚・印刷代及びポスティング費用)他時刻表付きうちわ200枚(現物)寄贈していただきました。

## その他の会計報告(令和3年12月31日現在)

収入  
コミュニティ・自治会・福祉委員会の地域3団体から協力金として 580,000円

支出  
ポスター制作費・特別乗車券の発行・事務費等に 279,718円

現在残高 288,404円



## バスだより「発車オーライ」発行のための募金ご協力に感謝!!



(編集後記)

私たちが請願書を提出した日、令和4年度施政方針が発表されました。「公共交通を取り巻く環境変化に対応し、持続可能な公共交通を確保するため、(仮称)川西市公共交通計画の策定を進めるとともに、コロナ禍における市内公共交通への支援についても検討します」(川西市HPより抜粋)施政方針に公共交通への取り組みが明記されたことに期待が膨らみます。コロナ終息後、社会の変化を予測するのは難しいけれど、コロナ前よりも幸せを実感できるような川西市であってほしいと願っています。春よ来い♪早く来い♪♪

大和バスだより

# 発車オーライ!!

17号 (令和4年2月)



発行/大和交通検討委員会(事務局:牧の台会館内)072-794-7699

## 緊急重要報告

### 第2回川西市地域公共交通会議

1月27日(木) 於:アステホール(傍聴:大和6人)

一体どうなる?  
大和バス!!



皆さまに以前から幾度となくお伝えしていることですが「現行のバスダイヤ(平日38便・休日21便)は令和4年9月までの期限付き運行で、それ以降については未定」という状況が続いています。

市は平成27年に川西市公共交通基本計画を策定「地域と事業者(阪急バス)と市(交通政策課)が公共交通に対する共通理解のもと協働して取り組まなければなりません」(原文のママ)とし、私たちはそれを信じて大和交通検討委員会を立ち上げ、相当な時間をかけて大和バスのあるべき姿を協議してきました。

令和3年9月、阪急バスの多大なご協力とご支援をいただき、新ダイヤ・ルートの実行を開始し、5ヶ月がすぎたところです。もっと早く新しいダイヤ・ルートに変え、乗客数がどのように変わるか検証して、必要なところはさらに改善し、検証と改善を繰り返して令和4年10月を迎えるべきだったと考えています。

しかし、市と地域が心を合わせて最善の協議をしてきたとはいえ、今回の川西市地域公共交通会議では地域が抱える諸問題を置き去りにしたまま、そしてコロナという特別な事情を考慮することなく「市提案ダイヤと運賃」を川西市地域公共交通会議に諮り10月からそのダイヤと運賃で運行しようとしていることがわかりました。

当日オブザーバーとして南野委員長・岩井事務局長が出席し、地域が作った資料の説明と現在までの経過や地域の思いを述べ、出席委員の皆さまに「慎重な審議」をお願いしました。大和交通検討委員会を立ち上げた令和2年12月から現在に至るまで、乗客数を増やすため様々な取り組みを行ってきました。地域の皆さまにも募金のお願いや、ポスターの掲示などたくさんのご協力をお願いしてきました。

阪急バスも素人の私たちの要望に根気よく応えていただき、念願の38便の運行が実現しました。一方、市は「令和4年9月までは41便でも38便でも地域の思うようにしてください。それ以後は1500万円の補助金の範囲で運行できるダイヤにします。」と言い、今も協議が続いています。

今、一番大事なことは、市と阪急バスが交わっている覚書には「病院線・大和団地線にかかる運行経費は市が負担する」と書かれているのに、相当額の赤字を阪急バスが負担していることです。また、コロナの長期化で公共交通が大きな打撃を受けています。阪急バスも例外ではありません。

大和交通検討委員会は12月13日川西市議会に陳情書を提出、今年2月16日に請願書を提出しました。今後は川西市議会に川西市の公共交通施策のありかたを協議いただき、その中で大和バスがどうあるべきかを考えていくことが最善の道と判断しました。

大和バスの問題は和だけの問題ではありません。大和バスは補助路線で赤字額が目に見える特殊な状況ですが、川西市のほとんどの路線バスが、実は大和バスと同じ状況にあることを危惧しています。

川西市の公共交通を守ることは私たちの生活を守ることです。みんなで力を合わせて頑張りましょう!!

2月16日川西市議会久保義孝議長あてに請願書を提出しました。請願書は3月議会にかけられ、採択か否決か継続審議になるかが決まります。結果がわかるのは3月4日です。大和バスのより良いありかたを考えていく大事な請願です。請願書の提出には紹介議員が必要です。紹介議員には黒田美智議員（共産党）磯部裕子議員（まほろば会）が署名していただきました。（地元西山議員は建設常任委員会委員のため紹介議員にはなれません）3月議会では建設常任委員会にかけられます。建設常任委員会で岩井事務局長が請願趣旨説明をします。下記に請願趣旨及び請願事項を掲載しました。詳しくは牧の台会館、自治会館に掲示しています。

## 川西市公共交通基本計画等に関する請願書

### 請願趣旨

川西市では、高度経済成長時代の大規模なニュータウン開発とともに基幹交通軸が形成され、各地域において基幹交通までのアクセス手段としての地域公共交通網が形成されてきました。しかし、自動車に依存したライフスタイルの浸透や、高齢化等により、公共交通機関の利用者は減少の一途を辿っており、事業者は厳しい経営環境にさらされています。

そして、今後ますます進展する人口減少時代において、事業者の努力だけでは、もはや公共交通を維持することはできないとの認識のもと、市は平成27年に川西市公共交通基本計画を策定し、市、事業者及び市民の3者が協力して公共交通を守っていく決意を示されています。

大和地区では、この計画の理念のもと、本市唯一の補助路線であり大和地区の地域内公共交通であるバス路線を守るため、地域住民が乗車促進の運動をはじめ、様々な取り組みを積極的に展開してきました。昨年9月には、利便性の向上を図り利用者を増やすため、事業者と協議して新たなルートとダイヤでの運行を開始したところですが、コロナ禍において現在の取り組みの検証ができません。

この地域での取り組みは、川西市地域公共交通会議の学識経験者からも高く評価されており、今後、各開発団地において同様の取り組みが必要となった時のリーディングケースにするべきだとも言われています。

また、昨今、市内のバス路線は減便に歯止めがかからない状況で、今後、減便が一層加速することが予想され、それぞれの地域において地域特有の課題があると考えられます。計画にもあるように各地域において地域住民が主体となって、市、事業者の3者が地域公共交通を守る取り組みを進めていかななくてはなりません。

そこで、下記の事項について請願します。

### 請願事項

1. 川西市公共交通基本計画実現に向けた取り組みとして、川西市公共交通会議の復活又は、同会議の委員構成等に準じた新たな会議体を設置して地域公共交通実施計画の策定及びPDCAサイクルの進行管理を実施すること。
2. 大和地区における地域公共交通機関を維持するために、地域としてもモビリティ・マネジメントの取り組みの強化など最大限の努力を惜しまないの、市としても大和地区における地域公共交通機関の維持のため、バス運行に係る川西市と阪急バスとの覚書を順守すること。

大和交通検討委員会が請願書を議会に提出することになろうとは想像もしていませんでした。「川西市公共交通基本計画に沿って市と阪急バスと地域が協議することで最善の道が見つかる」と信じて話し合いを重ねてきました。しかし、時間だけがすぎ、このままでは大和バスを守り、大和住民の生活を守ることができないという結論に至り、3月議会に請願書を提出する苦渋の決断をしました。切羽詰まった、ぎりぎりの選択です。私たちは川西市公共交通基本計画に沿った3者の話し合いの中で、大和バス問題や危機にある川西市の公共交通問題が話合われるべきだと考えています。皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げます。

1月27日川西市地域公共交通会議で南野委員長・岩井事務局長が地域の状況を説明、思いを述べました。川西市地域公共交通会議（会長：日野大坂市立大学名誉教授）（副会長：松村愛媛大学教授）は18団体で構成され、法的拘束力を持つ法定会議です。その場で事務局（川西市土木部交通政策課）が提案した事項が賛成多数で可決されれば、法的拘束力を持ったこととして実施されます。

### 1月27日川西市地域公共交通会議で岩井事務局長が地域の思いを述べました。（発言内容は下記の通りです）

繰り返しになりますが、私たちの考えは38便の存続です。これまで一年以上かけて、川西市と阪急バスと協議を重ねてきました。私たちは、川西市から「地域で主体的にバスの再編について考えてほしい」と話があり、①オンデマンドと切り離す②大和地域内だけを検討する③運賃値上げは最後の最後の三点を川西市と合意の上、協議をスタートしました。

地域は、一貫して「持続可能なまちづくり」即ち「誰もが住み慣れた地域で住み続けられることができるまちづくり」の視点から考えてまいりました。

これに対して、阪急バスは地域の様々な提案や要望に対して、いくつものダイヤを提案していただくとともに、ハニカの出張販売や、バス車内でのポスターなどの掲示、阪急バスのパークラフトの提供など多大なご協力をいただき感謝しています。

一方、川西市は「地域で主体的にバスの再編について考えてほしい」といいながら、最初から結論ありきで「運賃値上げ」「大幅減便」の姿勢を貫いています。

そもそもこの路線は、川西市の要請に基づき、損失額が出たときは全額市の補助金で補填するということで、阪急バスが運行されているものです。

しかしながら、長年に渡ってこの約束が果たされず、阪急バスに負担を強いている状況です。昨年9月、紆余曲折を経て、新ルート、新ダイヤの運行を開始してわずか4ヶ月しか経過していません。

さらに、コロナ感染の第6波が始まっているこの時期に判断することが妥当なのでしょうか。また、先ほど説明した地域を取り巻く環境変化があります。

こうした時期に、地域と協議が整っていないというより、議論していない中で審議が進められようとしていることに強い危惧を抱いています。

私たちは、阪急バスにこれ以上の負担を求めるのではなく、コロナが収束し、先が見通せる時期が来るまで、令和4年9月までとなっている期限を川西市が延長し、以後の赤字を補填すべきだと考えています。

そして、その間に色々な可能性を模索し、実行しながら運賃改定を含めより良い解決策を見いだして行きたいと考えています。以上が私たち地域の考え方です。

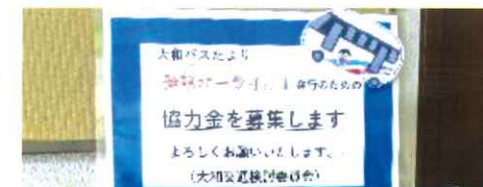
会長をはじめ委員の皆様には、慎重に審議していただきますようお願いいたします。



川西市地域公共交通会議資料表紙



牧の台みどりこども園・つくしんぼ保育所の子どもたちがバスの絵をかきました



引き続き募金にご協力をお願いします



大和バスポスターを作り掲示



毎月畦野駅前バス乗降者数調査をしています

川西市地域公共交通会議大和バス資料 (大和交通検討委員会作成)

川西市地域公共交通会議資料及び議事録は牧の台会館で閲覧できます。